

2024年10月21日

従業員参加型の生成 AI「ChatGPT」活用アイデアコンテストの開催について

足利銀行（頭取 清水 和幸）は、従業員を対象とした生成 AI「ChatGPT」の活用アイデアコンテストを開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、2024年4月より「ChatGPT」の利用を開始※し、業務効率化および生産性向上に取り組んでおります。

本コンテストは、ChatGPT の活用促進を図り、デジタル技術やデータ活用による新しいサービスや課題解決に向けたアイデアの創出、変革に挑戦する組織風土の醸成を目的に実施したものです。

当行は、今後も従業員一人ひとりが自発的に活動し、創造的な価値を生み出すことで、DX の取り組みを推進し、地域と地域のお客さまに新たな価値を提供し続けてまいります。

※当行は、2024年3月にソフトバンク株式会社の支援を受け、日本マイクロソフト株式会社の「Azure Open AI Service」を用いて環境構築し、同年4月より従業員での利用を開始いたしました。

【関連ニュースリリース】 [2024年2月21日 生成 AI「ChatGPT」の活用開始について](#)

記

1. アイデアコンテストの概要

名称	ChatGPT Revolution Race
対象者	足利銀行の全従業員（営業店・本部等）
開催目的	・ ChatGPT の活用定着 ・ 課題解決に向け、変革に挑戦する組織風土の醸成 ・ 従業員の AI リテラシー向上
応募数	39 件
審査方法	【1次審査】 効率性、実効性、独創性等の観点より書類審査 【2次審査】 ソフトバンク株式会社による技術面に関する書類審査 【最終審査】 経営陣等を審査員としたプレゼンテーション
その他	コンテスト実施にあたり、SBI ホールディングス株式会社、SBI ネオファイナンシャルサービシーズ株式会社、DataRobot Japan 株式会社の支援によるワークショップを開催し、ChatGPT を活用する課題解決に繋がる実現性の高いテーマやアイデアを生み出す基礎知識の習熟を図りました。

2. 開催結果について

応募企画には融資や渉外などの営業活動の活用案、本部業務の活用案等、意欲的なアイデアが寄せられました。審査の結果、選出された 6 企画について最終審査として応募者自身によるプレゼンテーションを実施しました。

今後、コンテストを通じて把握した従業員の利用ニーズや期待する活用分野について、外部企業と連携しながら、応募アイデアのサービスへの取り込み等を迅速に検討してまいります。

以上

